

高崎芸術劇場広報誌

劇場都市

vol **07**

2019 SUMMER
Takasaki City Theatre
Information Magazine
GEKIJOTOSHI

公益財団法人
高崎財団
The Takasaki Foundation

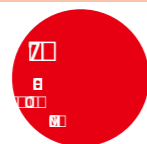
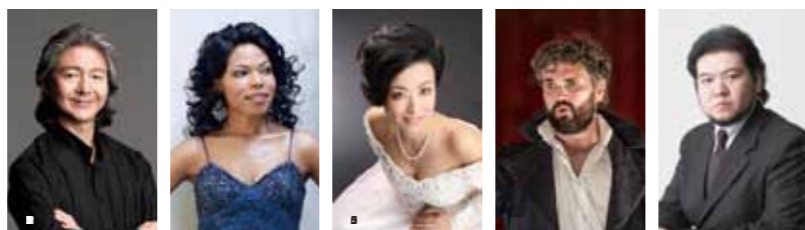
都市は劇場であり、劇場は都市である



「大友直人のClassical Anatomy」

佳やかなる幕開け!!

6



11



高崎の映画文化を築き上げ繋げてきた巨匠 映写技師 小田橋 淳夫

映画文化を支えてきた映写機

高崎電気館が高崎市施設として再稼働した2014年から、定期的に「ここに泉あり」の上映をしている。上映素材は35ミリフィルム。高崎電気館には現役の35ミリ映写機があるからだ。2010年を境に日本の映画業界も一気にデジタル化され、映画の上映を35ミリですることは非常に少なくなった。現在シネマコンプレックスで35ミリ映写機を所有しているところはない。昔からある興行館も、地方にあるミニシアターも、手放すところが多く、デジタル機材を入れられずに閉じた映画館もある。それだけ35ミリ映写機が貴重なものになっている中、高崎市内には35ミリフィルム映写機を所有する建物が4館もある。これは今の時代なおさらに珍しい事例だ。

シネマテークたかさき、高崎電気館は映画館だが当然としても、公共施設の高崎市文化会館、群馬音楽センターにも35ミリ映写機がある。二



▲電気館に展示されている映写室から降ろされた35mm映写機

つの会館は半径2キロメートル圏内と近い。群馬音楽センターが開館した1961年は、その2館の間に8つの映画館があったわけで、これだけ近い距離で、公共ホールが興行館と同じ設備を要するという事は普通では考えられないことだった。双方の理解がなければ成立しない出来事であるし、それだけ文化芸術に対して力を入れていた土地柄なのだと推察できる。

現在、市内にある現役の映写機で一番古いものは間違いなく群馬音楽センターの映写機だ。フィルムがまだ可燃性だった時代のもので各パーツごとに蓋がつけられている。磁器だった音声読み取りの部品はついまま残っている。

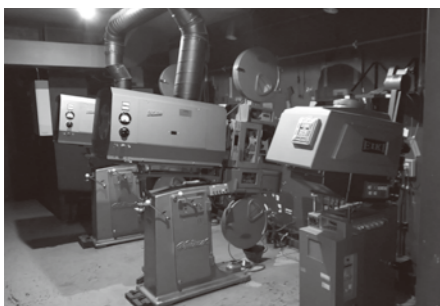
ここに映写技師あり

私が映画館の仕事始めた2004年当時、すでに群馬音楽センターで映画が上映されることは数年に一度のことになっていた。古い映写機は上映機が減れば減るほど、時折動かす時の負荷も大きくなり、故障する頻度も高くなる。こうした状態の映写機を動かしたい、と申し入れると決まって返ってくる言葉があった。「小田橋さんにやっていただけるのなら」だ。小田橋さんとは、高崎映画祭の草創期から映写に関わり、シネマテークたかさきの

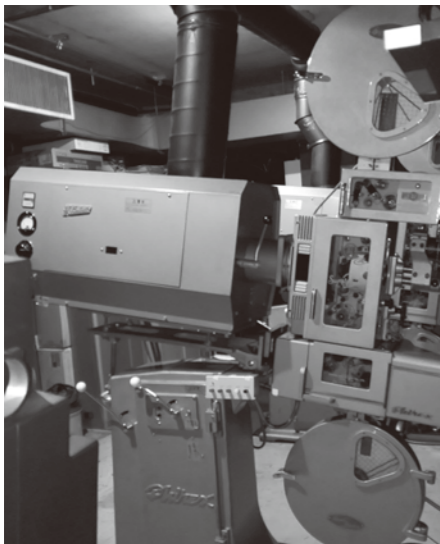
写班を希望し、毎日高崎市文化会館の映写室にいた。映画祭が始まって数日後、確か平日の昼間だった。試写中にトラブルが発生した。「小田橋さん呼んできて！」といわれた。これが私の映写班としての初仕事だった。え、誰それ、と思っていると「図書館にいるから！早く！」と畳み掛けられた。訳もわからず隣接の図書館に走った。出てきたのは、紺色のスーツを身にまとったスマートな白髪の紳士。あらあら、というふうにして小田橋さんは小走りに映写室へ向かってくれた。

高崎の映画上映を守り抜いた職人

かつて連雀町にあった映画館銀座座の映写技師だった小田橋さんは、群馬音楽センターが出来た時に映写や舞台周り全般の専門技師として市の職員になった。後で聞いた話だが、そうは言っても音楽センターで映画上映が毎日



▲群馬音楽センターの映写室



▲群馬音楽センターの35mm映写機



▲第30回高崎映画祭で「高崎映画礎賞」を受賞し、スピーチする小田橋さん。



▲第30回高崎映画祭で岸恵子さんと共にステージに並ぶ小田橋さん(右から2番目)。

あるわけじゃないから、と小田橋さんは照明の勉強をし、当時高名だった照明技師に弟子入りして一から照明の勉強をしたそうだ。映写技師であり、照明技師だった小田橋さんだが、市の職員だから異動がある。私が出会った時は図書館に勤務していた。公共施設の映写機材は全部熟知していて、高崎映画祭が始まった頃からの映写の守り神。他方、映画のポスター、雑誌をはじめとするものすごい資料収集家でもあった。温和で穏やかで控えめな紳士は、知る人ぞ知る高崎の映画上映を守り抜いてきた職人だった。

市職員の傍、高崎映画祭があるとボランティアスタッフに映写を教え、共に映画上映を続けた。退職されて程なく、シネマテークたかさきが無事に開館に漕ぎ着けると、大変だろうからと、自ら映写技師としてボランティアで協力すると言ってくれた。それから初めの数年間は週に4日、スタッ

フが育ってきたところで日数を減らしながら通い続けてくれた。そして2013年にシネマテークたかさきが完全にデジタル化になった際に、「辞める」と退かれた。35ミリ映写機が好きで、35ミリフィルムを回すのが好きだから、デジタル映写機はもうやりたくない。とはっきりと私に伝えてくれた小田橋さんの少しさみしい顔が思い出される。

小田橋さんから手ほどきを受けた技師たちが跡を継ぐ

2014年の冬、電気館の再稼働が決まった時に、真っ先に小田橋さんに電気館の映写機をまた回して欲しいとお願した。当時病気を患い入院していた小田橋さんは、この話をとても喜んでくれた。その後入院を繰り返すことになった小田橋さんが、ここで映写機を回すことはなかったけれど、

開館から数年前まで完全なるボランティアで映写業務に携わってくれた映写技師である。会館側から絶大な信頼を寄せられる小田橋淳夫さんは、音楽センターにある映写機のかつての相棒だった。映写機のクセを知り尽くした小田橋さんであれば、動かせる。他の人では問題なく動いた試しがない、という揺るぎない事実があった。

私が小田橋さんに初めてお会いしたのは20年前、高崎映画祭のスタッフになった最初の年だった。初年度私は映画を観にきてくれたり、上映する旧作のポスターや資料を随分とたくさん貸してくれた。その小田橋さんは2018年、平成の終わりが見えてきた11月に帰らぬ人となった。

高崎市文化会館とシネマテークたかさきの35ミリ映写機は、小田橋さんから手ほどきを受けた技師たちが立派に跡を継いで回すことができている。実は、群馬音楽センターで最後に上映をした時、小田橋さんは「もう皆さんでできるから大丈夫だよ」と言ってくれたのだけれど、恐れ多くて独り立ちできると思えない自分たちがいる。

それでも、高崎の映画文化を上映の部分で築き上げ繋げてきた巨匠と過ごした数年間は私たちの誇りであり宝だ。それを肝に命じて、これからも年老いていくいくつかの映写機とともに行けるところまでいきたいものだ、と思っている。

高崎映画祭プロデューサー 志尾陸子

▲高崎映画祭の草創期からボランティアスタッフとして上映に携わり、後進の育成にもあつた小田橋さん(2016.3.19高崎電気館にて)。



超満員となったお披露目公演で熱いタクトを振る「炎のコバケン」(群馬音楽センター2019.4.13)

小林

特集II インタビュー

Ken-ichiro
Kobayashi

研

一郎

“炎のマエストロ” 群馬交響楽団ミュージック・アドバイザー

“人生の薫り”がするクラシック音楽

「世の中には途轍もないものがある」

——そう子ども達に伝えたいのです



2019年9月、高崎芸術劇場に本拠地を移す群馬交響楽団は、更なる飛躍を目指す今年、世界的指揮者の小林研一郎氏をミュージック・アドバイザーに迎えた。「三年間の任期で燃焼しつくしたい——」そう誓う炎のコバケン、七十九歳が今、語ることは。

「群響との深い縁

——群響ミュージック・アドバイザーに就任された、今のお気持ちを聞かせてください。

こういう冠を頂くと「家族」になりますね。当初は随分悩みました。79歳になった私が群響の発展にエネルギーを燃やせられるのか、今までの経験を放出できるのか、複雑な思いでした。

でも、リハーサルで『英雄』をやり、彼らは日本人のもつ独特な靈感や折り、さまざまに変化できる心を持った人達の集まりだなと思いました。音に対して献身的に打ち込む姿を見て「群響に来てよかった」と思いました。

例えば山田一雄先生(群響元芸術監督)が、東京藝術大学を卒業したばかりの私に定期演奏会(1970年3月・第108回)で振るチャンスくれたのです。その経験が経歴証明となつてブタペストの国際指揮者コンクールに出ることができ、一位になりました。群響様々なのです(笑)。この巡り会わせて感謝しています。

私がプラハでチェコフィルハーモニーを指揮したのは2002年でした。それ以前に群響はそこで演奏しています。群響は国外的にも活躍する力を持っていると思います。群響の放つ音は、人々の心のひだに届く音です。群響を世界に通じさせる高い地位まで持っていきたいですね。

「幼少期の思い出

——音楽との最初の出会いは、どんなものでしたか。

僕は福島の小名浜で生まれ育ちました。三歳のとき、太平洋戦争二年目、上空をB29が飛び、沖では艦砲射撃の音がしている。そんな恐怖の時代、父親の弾くピアノの音を聞きました。高校の体育教師だった父が学校で「月の砂漠」を弾いてくれたのです。

トットツと始まった音が「金と銀との……」というところでアルペジオになって音を連ねたのです。三歳の僕は「父さん、もう一回やって。どうやって弾くの？僕にも弾かせて」——2つ3つと自分で弾けたときの喜びは忘れられません。

群響の移動音楽教室は子ども達に、「世の中には途轍もないものがあるよ」という触れ合いの場なのです。その出会いが大人になったときに演奏会に行く礎となるのです。子ども達ってセンシティブですからね。「今日の、すごかった」って思わせるようにしなければ。僕も移動音楽教室に弟子を二人ほど送り込みたいと思っています。

——ラジオで聞いたベートーヴェンの「第九」との出会いも衝撃的だったそうですね。

9歳のときでした。でも、「第九」を聴いて初めから感動するというのでは

なく、三歳のときの父のピアノが心の中に眠っていたからです。疎開先の白河でラジオから流れてきた歌謡曲や童謡も下地になっています。

僕は小学生のとき、よく講堂にこっそり忍び込みました。グランドピアノの蓋の隙間に下敷きを挟んで、上手い具合に開けるテクニクを身につけたのです(笑)。真つ暗な中で微かに見える白い鍵盤。それを弾く。和音になる。三つの音が鳴る。それが嬉しくてまた行く。自分の思いの丈を弾く。ある日、音聞きつけた用務員さんが来て逃げる。足が速くなる。その繰り返しでした(笑)。教頭が私の母親でしたので「研一郎を許してやってください」で済みましたからね。

母親が刷ってくれた五線譜に音を書く。なぜか、うちの本棚に音楽書がたくさんあったので勉強したのです。その理由が分かったのは、父が92歳で亡くなったとき、弔辞で父が音楽家を目指していたことを知ったのです。でも、断念し「メシが食えるように」と教師になった。その息子が音楽を始めると僕が「絶対やらせちゃいけない」と僕の書いた五線紙を破る。両足を持って井戸に宙吊りにされたこともありました(笑)。

でも、僕が中学生のときにNHKの音楽コンクールに出した作品がラジオで流れ、評論家が「この子はとても珍しい才能を持っている。是非、育ててほしい」と言い、さすがに父親も折

チケット
好評発売中
一部公演は
除く

高崎芸術劇場 オープン記念

第30回 高崎音楽祭



問い合わせ先：高崎音楽祭事務局 ☎ 322-9195

ホームページ <http://www.takasakiongakusai.jp>

高崎芸術劇場 大劇場

加藤登紀子&森山良子
シンフォニックコンサート with 群馬交響楽団
9月22日(日) 15:00開演

【出演】加藤登紀子、森山良子、鈴木織衛(指揮)、群馬交響楽団
【料金】全席指定 7,000円



小林研一郎指揮 群馬交響楽団特別演奏会
＜コバケンの巨人＞
9月28日(土) 15:00開演

【出演】小林研一郎(指揮)、金子三勇士(ピアノ)
群馬交響楽団



【曲目】モーツァルト「ピアノ協奏曲第20番」、マーラー「交響曲第1番(巨人)」
【料金】全席指定 S席5,500円 A席4,500円 B席3,500円

酒井 茜&マルタ・アルゲリッチ ピアノ・デュオ・リサイタル
9月29日(日) 17:00開演

【チケット発売】高崎芸術劇場メンバーズ限定:7/24(水)10時～、一般発売:7/26(金)10時～

【出演】酒井茜、マルタ・アルゲリッチ

【曲目】モーツァルト「4手のためのピアノ・ソナタ 二長調」
プロコフィエフ(プレトニョフ編曲)「組曲《シンデレラ》」
ストラビンスキー(自身による4手編曲)「春の祭典」

【料金】全席指定 S席12,000円 A席9,000円 B席6,000円



高崎芸術劇場 音楽ホール

ラルフ・タウンラー アコースティックギターの祭典
9月29日(日) 17:00開演

【ゲスト】FRET LAND(鬼怒無月、有田純弘、竹中俊二)
【料金】全席指定 6,000円



高崎芸術劇場 スタジオシアター

松井常松 with no+ subject
9月23日(月・祝) 17:00開演

【出演】松井常松、松本直樹(パーカッション)
秀吉(バンド)ほか
【料金】全席指定 4,000円



夏木マリ
マリと高崎の神隠しコンサート
9月26日(木) 19:00開演

【料金】全席指定 6,000円



りんけんバンドコンサート
9月28日(土) 17:00開演

【料金】全席指定 4,000円
※小学生以上は有料。未就学児童は保護者1人につき1人だけ膝上鑑賞可能。
未就学児童でも座席が必要な場合は有料



PERSONZ
10月5日(土) 18:00開演

【料金】全席指定 6,500円
※小学生以上は有料。未就学児童は保護者1人につき1人だけ膝上鑑賞可能。
未就学児童でも座席が必要な場合は有料



ゴスペラズ ビッグバンドコンサート
10月5日(土)17:30開演/10月6日(日)16:30開演

【チケット発売】WEB・一般発売:8/3(土)10時～

【出演】ゴスペラズ
GBB(ゴスペラズビッグバンド、
バンドマスター:笹路正徳・高崎市出身)

【料金】全席指定 7,500円
※小学生以上は有料。未就学児童は保護者1人につき1人だけ膝上鑑賞可能。
未就学児童でも座席が必要な場合は有料 ※「2.市プレイガイド」では販売しません



美輪明宏の世界～愛の話とシャンソンと～
10月11日(金) 18:30開演

【料金】全席指定 6,500円



**「音楽のある街 高崎」
スペシャル シンフォニックコンサート**
10月14日(月・祝) 14:00開演

公募招待
入場無料

【出演】大友直人(指揮)、出来田三智子(ソプラノ)、本島阿佐子(ソプラノ)
大山亜紀子(ソプラノ)、泉良平(バリトン)、群馬交響楽団

【申し込み】7月31日(水)までに、往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・
希望人数(2人まで)を書いて、〒370-0849 八島町265 ラジオ高崎内
高崎音楽祭コンサート係へ。応募多数の場合は抽選します

仲道郁代 ピアノ・リサイタル
10月1日(火)13:30開演

【曲目】ベートーヴェン「ピアノ・ソナタ第8番 八短調(悲愴)」ほか
【料金】全席指定 3,000円



CRAZY KEN BAND
10月8日(火) 18:30開演

【料金】1階(立見)6,000円 2階(全席指定)6,500円
※小学生以下は入場できません



渡辺貞夫クインテット2019 ～Time After Time～
10月10日(木)19:00開演

【出演】渡辺貞夫(アルトサクソ)、林正樹(ピアノ)
コモブチ キイチロウ(ベース)
竹村一哲(ドラムス)、ンジャセ・ニヤン(パーカッション)

【料金】全席指定 6,000円



山中千尋 エレクトリック・フィメール・トリオ
10月12日(土)17:00開演

【出演】山中千尋(ピアノ・キーボード)、ジェニファー・レイサム(ベース)
カレン・テパーバーグ(ドラムス)

【料金】全席指定 5,000円



**el tempo directed by
シッド・カファ / サンティアゴ・バスケス**
10月14日(月・祝) 14:00開演、18:30開演

【出演】シッド・カファ、サンティアゴ・バスケスほか
【料金】全席指定 6,000円



※一部の公演を除き未就学児は入場できません。都合により、出演者など公演内容が変更になる場合がございますのでご了承ください

- 1. 高崎芸術劇場メンバーズ(登録無料)
<http://takasaki-foundation.or.jp/theatre/>
- 2. 市プレイガイド【窓口販売だけ】
音楽センター、市文化会館、シティギャラリー、箕郷文化会館、
新町文化ホール、榛名文化会館、吉井文化会館、倉渕支所地域
振興課、群馬支所地域振興課
- 3. ローソンチケット
<http://l-tike.com> ☎0570-000-777 (午前10時～午後8時) 全国のローソン各店
- 4. e+ (イープラス)
<http://eplus.jp> 全国のファミリーマート各店
- 5. チケットぴあ
<http://pia.jp> ☎0570-02-9999 全国のセブン-イレブン、チケットぴあ店舗

主催/高崎音楽祭委員会・高崎市 共催/高崎財団 後援/高崎商工会議所・ラジオ高崎・高崎観光協会

天からの贈り物

——高崎芸術劇場のオープンについて
どんな思いでしょうか。
喜びですね。ネームバリューのある
オーケストラは、必ず良いホールと良
い楽器、豊富な資金を持っているので
す。ムジックフェラインというホール
がなかったら、ウィーンフィルは出来
上がらなかったでしょう。世界最高峰
のストラディバリウスを一人ずつ配る
のですから。そんな音が八方からくれ
ば他の楽器だって迂闊に弾けない。そ



れがウィーンフィルを作ってきたと思
うのです。高崎芸術劇場は、天からの
贈り物だと思っています。
——指揮をしていて、聴衆の思いは
感じるのでしょうか。
不思議ですが、この背中で感じるの
です。皆さんの呼吸や吐息、鼓動、す
べてがひとつになって僕を襲ってくる
のです。一番辛いのは「つまんねえな
あ」と思っているときです。ドキドキ
して、絶叫しそうな声なき声もありま
す。指揮をしながら聴衆の心の声が聞
こえるのは宿命ですね。でも、僕らが
時間を掛けて音を紡いでいくと必ず伝
わるものがあります。

——愛称「炎のコバケン」への思いは。
どなたかが付けて、それがもぎ取ら
れないでいるのは何かあるのではし
ょうね。群馬にコバケンが来てくれて嬉し
いですと言われれば、私も嬉しく誠心
誠意、力を尽くしたい。それによって
燃焼度が上がり、リハーサル集中度
が違ってきます。そうやって八十年近
くかけて紡いできた人生ですから、炎
にならざるを得ないですね。
一方、冷徹な指揮を命とされる方も
います。「燃焼こそ命」と思う人間と正
反対ですから、世の中面白いと思っ
てください。僕がクールなときもありま
すし、方向性が定まらないときもあ
る。それは、人間ですからね。許して
頂きたいですね。

こばやしけんいちろう

1940年福島県。東京藝
術大学作曲科および指揮
科卒業。1974年第1回ブ
ダペスト国際指揮者コン
クール第1位、特別賞受
賞。現在、日本フィル桂冠
名誉指揮者、ハンガリー国
立フィルおよび名古屋フ
ィルの桂冠指揮者などを
務める。2019年4月、群馬
交響楽団ミュージック・ア
ドバイザー就任。



——メッセージをお願いします。
私はいつも「皆さんの熱意が今日の
演奏を作ってくれました」とステ
ージから直接、感謝を伝えるようにしてい
ます。私達は聴衆の皆さんがいな
いと成り立ちません。群響を盛り立てて
いただいて、スタンディングオベー
ションで拍手を送っていただきたい。そし

——音楽以外の息抜き法は何ですか。
昔はよくスポーツをしました。中学
生の頃、百メートル日本記録に近か
ったのです。でもね、他の選手はスパ
イクで僕は裸足(笑)。
そんな風にはスポーツが好きで、ゴル
フや野球をやったり。時には将棋をや
って、プロの方に勝ったこともありま
す。映画も見ますし、最近漫画を
みます。集中しすぎては駄目なので
「クレヨンしんちゃん」を2ページ読
むと寝られます。面白いですからね。

小林研一郎指揮・公演情報

- 第550回群響定期演奏会
- 【日時】7月13日(土)18:45開演
- 【会場】群馬音楽センター
- 【出演】木嶋真優(ヴァイオリン)
- 【曲目】チャイコフスキー/
ヴァイオリン協奏曲二長調作品35
/交響曲第4番へ短調作品36
- 【料金】S席4,600円 A席4,100円
B席3,600円 C席(自由席)2,100円
*U-18(18歳以下)の方は一回券が50%。
(販売は群響事務局のみ)
- 【お問い合わせ】群馬交響楽団
TEL:027-322-4316
- 第30回高崎音楽祭「コバケンの巨人」
詳細は左ページ参照



——これからの公演を益々、楽しみ
にしています。本日はありがとうございました。
て、皆さんに伝えたいのは「クラシッ
ク音楽を聴くと人生が薫りますよ」と
いうことです。

高崎芸術劇場オープニングラインナップ

大劇場 ～国内最大級の舞台面を誇る臨場感あふれる高機能ホール～

音楽ホール ～リサイタルに最も適した413席の贅沢な空間～

ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」

10月19日(土)18:30開演/10月20日(土)14:00開演

日本・ポーランド国交樹立100周年に贈る豪華なステージ。フォークロアの宝庫ポーランド伝統舞踊と合唱を存分に担当できます。



【曲目】ポロネーズ、マズル、シュワ・ジェヴェチカ、ほか
【チケット発売】W 7/19(金) T 7/24(水)・25(木) 一般 7/26(金)
【料金】全席指定 S席 7,500円 A席 6,500円

トリエステ・ヴェルディ歌劇場「椿姫」

11月3日(日・祝)16:00開演

ヴェルディゆかりの歌劇場が満を持して届ける「椿姫」。ヴィオレッタ役にイタリアの名花・ランカトーレが出演!



【チケット発売】発売中
【料金】全席指定 S席15,000円 A席12,000円 B席9,000円
C席6,000円 U-25(C席)2,000円 C席完売

ケント・ナガノ指揮 ハンプルク・フィルハーモニー管弦楽団 辻井伸行(ピアノ)

11月6日(水)19:00開演 完売御礼
新時代の巨匠ケント・ナガノ率いる名門オケと辻井伸行、夢の初共演!



【曲目】イェルク・ヴィトマン:コン・ブリオ
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
ブラームス:交響曲第1番
【料金】全席指定 S席14,000円 A席10,000円 B席7,000円 U-25(B席)3,000円

lwatani presents Mariko Takahashi Concert vol.43 2019 MariCovers

11月9日(土)18:00開演
今年、セルフ・カバー・アルバム「MariCovers」をリリースし、円熟味溢れるボーカルと新たな大人アレンジでファンを魅了しつづける高橋真梨子待望のコンサート。



【チケット発売】W 8/2(金) T 8/7(水)・8(木) 一般 8/9(金)
【料金】全席指定 8,800円

雅楽 伶楽舎

11月17日(日)15:00開演

フランス・パリで行われたジャポニズム2018出演など、国内外で精力的に活動するプロ雅楽グループが、改元の年にふさわしい祝祭感に満ちた日本古来の響きと格調高い舞を披露。



【チケット発売】W 7/19(金) T 7/24(水)・25(木) 一般 7/26(金)
【料金】全席指定 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 U-25(B席)1,500円

第30回高崎元旦コンサート

2020年1月1日(水・祝)13:30開演

「音楽のある街」の元日恒例の群馬交響楽団によるコンサート。今回は、大友直人(前群馬音楽監督)を指揮に迎えます。



【出演】大友直人(指揮)、群馬交響楽団
【チケット発売】W 8/23(金) T 8/28(水)・29(木) 一般 8/30(金)
【料金】全席指定 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 U-25(B席)1,500円

シルク・ドゥラ・シンフォニー

2020年1月7日(火)18:30開演

エアリアル、フラフープ、ジャグリング、ピエロなど、サーカス界のトップアーティスト達がフルオーケストラと共演。「白鳥の湖」「カルメン」等、名曲と共に繰り広げる大スペクタクル。全米大ヒットの公演は必見。



【チケット発売】W 9/27(金) T 10/2(水)・3(木) 一般 10/4(金)
【料金】全席指定 S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円

パーヴォ・ヤルヴィ&NHK交響楽団 高崎公演

2020年2月8日(土)14:00開演

2015年、N響首席指揮者就任以来、多くのファンを魅了。世界に誇る名コンビ「パーヴォ&N響」が奏でる渾身のラフマニノフ。



【出演】パーヴォ・ヤルヴィ(指揮)、レティシア・モレノ(ヴァイオリン)、NHK交響楽団
【曲目】プロコフィエフ:ヴァイオリン協奏曲 第1番
ラフマニノフ:交響曲 第2番
【チケット発売】W 7/5(金) T 7/10(水)・11(木) 一般 7/12(金)
【料金】全席指定 S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円 U-25(B席)2,000円

小曾根真&No Name Horses

2020年3月7日(土)16:00開演

ピアニスト小曾根真が率いる総勢15名のビッグバンド。メンバーはいずれも日本を代表するミュージシャンで、自身のバンドにてリーダーを務めるトップ奏者が集結。



【チケット発売】W 8/2(金) T 8/7(水)・8(木) 一般 8/9(金)
【料金】全席指定 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 U-25(B席)1,500円

高崎芸術劇場メンバーズ

高崎芸術劇場メンバーズは、より便利に、より早くチケットが購入できる無料のサービスです

- 画面上で座席を選ぶことができます(一部対象外の公演もございます)
- 受取方法は、お近くのセブン-イレブンでの受け取りか郵送が選べます
- 有効期限はありません

高崎芸術劇場ホームページからご登録をお願いいたします
<http://takasaki-foundation.or.jp/theatre/membership.php>

高崎芸術劇場メンバーズ
スマートフォンからでもご登録いただけます

登録料
年会費
無料



ペーター・ロダール &中嶋彰子デュオリサイタル

9月21日(土)14:00開演
*5ページ参照



クリスティン・ルイス ソプラノリサイタル

9月22日(日)14:00開演
*5ページ参照



パウル・バドゥラ=スコダ ピアノ・リサイタル

10月25日(金)19:00開演
92歳。ピアノ界の生ける伝説が奏でるベートーヴェン&シューベルト。巨匠スコダの音楽家人生を俯瞰するプログラム。



【曲目】ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第1番、6つのパガデル
シューベルト:ピアノ・ソナタ第21番
【チケット発売】発売中
【料金】全席指定 5,000円 U-25 2,000円

イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)&アレクサンドル・メルニコフ(ピアノ)

10月30日(日)19:00開演 残席僅か
今回来日3公演のみ、世界屈指のヴァイオリニストによる稀少公演。メルニコフとの黄金のコンビが奏でる近代ソナタ作品の傑作。



【曲目】ドビュッシー:ヴァイオリン・ソナタ
バルトーク:ヴァイオリン・ソナタ第1番
ストラヴィンスキー:協奏的二重奏曲、ほか
【チケット発売】発売中
【料金】全席指定 8,000円 U-25 2,500円

マリコとオペラ! ~作家・林真理子のトーク・コンサート~

11月14日(木)14:00開演
テーマは「音楽と文学のすてきな出会い」。林真理子セレクトによる珠玉のオペラと魅惑のクロストークをお楽しみください。



【出演】林真理子(トーク)、小林沙羅(ソプラノ)、望月哲也(テノール)
河野紘子(ピアノ)、浦久俊彦(司会&進行)
【チケット発売】W 8/23(金) T 8/28(水)・29(木) 一般 8/30(金)
【料金】全席指定 5,000円 U-25 2,000円

アルディッティ弦楽四重奏団&高橋悠治(ピアノ)

11月23日(土・祝)14:00開演

現代音楽界のパイオニア的存在・アルディッティQが世界的作曲家・細川俊夫による作品(高崎芸術劇場委嘱)を初演します。



【曲目】シャリノー: Codex Purpureus II, クセナキス: Akéa
高橋悠治: 新作、シャリノー: 6 Quartetti brevi
細川俊夫: 新作(世界初演・高崎芸術劇場共同委嘱作品)
【チケット発売】発売中
【料金】全席指定 8,000円 U-25 2,500円

エマニュエル・バユ(フルート)&エリック・ル・サーージュ(ピアノ)

12月1日(日)14:00開演 残席僅か

不動の人気を誇るフルートの貴公子バユが盟友ル・サーージュとともに奏でる至福のデュオ。



【曲目】デュティユー: ソナチネ
ベートーヴェン: セレナーデ 二長調 Op.41、ソナタ 十長調
プロコフィエフ: フルート・ソナタ
【チケット発売】発売中
【料金】全席指定 6,000円 U-25 2,000円

イーヴォ・ポゴレリッチ ピアノ・リサイタル

2020年2月7日(金)19:00開演

狂おしく静謐。円熟期を迎えた天才ピアニスト。孤高の天才による原点回帰のプログラム!



【曲目】J.S.バッハ: イギリス組曲第3番
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第11番
ショパン: 舟歌 op. 60、前奏曲
ラヴェル: 夜のガスパーール
【チケット発売】W 7/19(金) T 7/24(水)・25(木) 一般 7/26(金)
【料金】全席指定 10,000円 U-25 3,000円

アマンディーヌ・ペイエ(ヴァイオリン)&リ・インコーニティ

2020年3月14日(土)14:00開演

ヨーロッパ古楽界を席巻、バロック・ヴァイオリンの名手が率いるアンサンブルによる「四季」。



【曲目】ヴィヴァルディ: 歌劇「オリンピアード」から シンフォニア 八長調 RV725
ヴィヴァルディ: チェロ協奏曲 イ長調 RV421
ヴィヴァルディ: ヴァイオリンとオルガンのための協奏曲 短調 RV517
ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集「四季」
【チケット発売】W 7/19(金) T 7/24(水)・25(木) 一般 7/26(金)
【料金】全席指定 5,000円 U-25 2,000円

*U-25料金は公演当日25歳以下が対象です。

チケット発売時間・方法

- web先行 受付日の10:00から発売。高崎芸術劇場メンバーズ限定。
- 電話先行 各日10:00~18:00に専用ダイヤル027-321-3900で受け付け。
- その他 チケットぴあ 0570-02-9999
イープラス eplus.jp

- 一般窓口 (窓口販売開始日の10:00~/以後8:30~17:15)
- 群馬音楽センター・高崎市文化会館(月休) ●高崎シティギャラリー
- 箕郷文化会館・新町文化ホール・榛名文化会館・吉井文化会館(月・火休)
- 高崎市倉渚支所(地域振興課)・高崎市群馬支所(地域振興課)(土・日・祝休)
- 一般発売 一般電話 (窓口販売開始日の13:00~)
- 群馬音楽センター(月休) TEL 027-322-4527
- 高崎市文化会館(月休) TEL 027-325-0681
- 高崎シティギャラリー TEL 027-328-5050

【公演についてのお問合せ】高崎芸術劇場 TEL 027-321-7300 (平日8:30~17:15)

W = web先行 T = 電話先行 一般 = 一般発売

MEET THE GSO

GUNMA SYMPHONY ORCHESTRA

群馬交響楽団
楽団員インタビュー

Vol.7

脈々と引き継がれる70年の群響サウンド
それを奏でる個性あふれるメンバーたち
楽団員を知れば群響がもっと好きになる

群馬交響楽団
セカンドヴァイオリン首席奏者

山本 はづき

やまもと はづき



リスクを恐れず挑戦する
——
巨匠たちの姿を見習いたい

「音が並んだだけの完璧な演奏はつまらない。そこを越えた向こうにあるもの。それが本番で出た時、心揺さぶられます」——敬愛する音楽家達、オーギュスタン・デュメイ、ギドン・クレメール、ゲルハルト・ボッセ。巨匠達の共通点は皆「リスクを恐れず挑戦し、良いものをつくり出す姿勢」だ。

🎻 ヴァイオリン少女からプロへ

小学校時代は「ヴァイオリンの練習か、ご飯を食べているか、学校に行っているかのいずれかだった」と笑顔で語る山本さん。芸大卒の先生の指導の下、セカンドヴァイオリン首席を担当。ハーマニーを感じられる喜びに目覚め、シンフォニーの世界へと歩み出した。

桐朋学園時代、国際コンクールの審査員ジョルジュ・パウクの誘いで英国へ留学。「演奏家として自分の出す音に責任を持って。なぜこの指使いなのか、自分で考えること」と徹底された。「あの二年間で大きく成長できた」と振り返る。帰国後、アンサンブル活動やジュニアオーケストラの指導を経て、「ブラームスの交響曲・全四曲を演奏したい」と群響へ入団した。

「今はYouTubeで弓使いまで研究できる時代。便利になった分、音の感覚までデジタル化しないか」と危惧し、曲のイメージをかき立てる「譜読み」の時間を大切にしている。

🎻 将棋と音楽と私

最近、趣味として小学校以来という将棋に夢中になっている。「駒の動き方はすぐに蘇りました。実家での父との対局に時間を忘れます」

一方、ヴァイオリンは限られた時間に集中して取り組む。早めに譜読みし、一度寝かせ、様々な表現方法を試みながら、理想の音へと仕上げていく。

「今日の公演よかったよ」。街角でその声を掛けられる高崎の音楽環境は、演奏家にとって優しく温かい。

今秋の高崎芸術劇場の完成は、演奏家にとっても刺激的だ。「ホールの響き方によって弾き方も変わる。技術をレベルアップさせて、新しい演奏に挑みたい」と前を向く。

「群響の音楽教室を経験している群馬の皆さん。私が将棋の楽しさを思い出したように、再び音楽を味わいに劇場にいらしてくださいね」

九月二十日、山本さんの新たな挑戦が「歓喜の歌」と共にスタートする。

Hazuki Yamamoto

- 出身 東京都
- 入団 2007年9月
- 最近の印象に残っている公演
第535回群響定期演奏会
オーギュスタン・デュメイ指揮
(2018.2.24)
- 好きなアーティスト
ギドン・クレメール
ジョルジュ・パウク
- 好きな楽曲
ブラームス「ホルン三重奏曲」